

殿山第二小だより

令和 6年 1月 9日 第 22号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

毎年、この時期になると、1995年（平成7年）1月17日に発生した阪神淡路大震災を思い出し、「自然災害に備えるための心の準備と物の準備をしっかりとしていきます。」と呼びかけていました。

しかしながら、今年、2024年（令和6年）1月1日 元日に、石川県能登地方を震源とする最大震度7を観測した大地震が発生しました。余震は今なお続き、ニュース画面に映し出される被害状況からは、自然災害の恐ろしさに心が震えます。

「天災（災害）は、忘れた頃にやってくる。」

（自然災害は、その被害を忘れたときに再び起こるものだという戒め）という戒めの言葉がありますが、今や頻繁に天災が生起する状況になってきたようです。「いつ、どこで、何が起こるかわからない。」ということを中心に、もしもの時にどのようにして自分の命を守るのか、家族の命を守るのか、私たちひとりひとりが心を整えておくことがとても大切なことと思います。



今週土曜日、非常変災時に保護者の皆様と連携し子どもたちを安全に帰宅させるための「引き渡し訓練」を実施します。すでに文書でお伝えさせていただいておりますが、当日、午前10時40分に学校からミルメールを送信させていただきますので、メール内容を確認いただいた後、お子さまのお迎えに来校いただきたく思います。保護者の方に安全に、確実に、お子様を引き渡すことを第一に考えて実施したいと考えておりますので、引き取りの順番を各クラス前でお待ちいただくことになるとは思いますが、ご了承くださいませようお願いいたします。



さて、学校は「もしもの」時に備えるということでは、ひとりひとりの子どもたちが学校生活を過ごすうえで、自身の学びを実感することができ（達成感・充実感を得ること）、友だちとの良き人間関係を築いていく能力を身につけていくための指導や支援を行っていかねばならないと思っています。

人間関係を築いていく過程においては、自分自身の想いを他の人に伝え、他の人の想いを聴き、考えを広め、深めていく作業が繰り返し繰り返し行われなければなりません。互いに分かり合える関係を構築するのはなかなか難しいものと思います。まさしく「言うは易く行うは難し」です。

プラス思考で考えてみると、良き人間関係の中での会話は、言葉使いが優しく表情が穏やかです。「目は口ほどに物を言う」（ことばで説明するのと同じ程度に、目つきは相手に気持ちを伝える。）ことわざとおり、温かな感情が行き来する空気感があります。

悪しき人間関係とは、上記のような空気感ではない状況ということでしょうか。早期の気づき、早期対応を行っていくために、本校ホームページ・ブログに掲載しています「いじめ防止基本方針」に則り、温かい見守り・声かけ・ききとり、メリハリを効かせた指導・支援を心がけていきたいと思っております。

子どもたちの良好な人間関係づくりのために、保護者の皆様の温かなご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



本校ブログQRコード

☆いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）（定義）第2条

この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。